

研究機関名：東北大学

受付番号：	2013-1-36
研究課題名	東日本大震災被災地における診療録のデータベース化と医療ニーズ・供給体制の解析
研究期間	西暦 2013年 6月（倫理委員会承認後）～ 2018年 3月
対象材料	<input type="checkbox"/> 病理材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 生検材料（対象臓器名） <input type="checkbox"/> 血液材料 <input type="checkbox"/> 遊離細胞 <input checked="" type="checkbox"/> その他（診療録）
上記材料の採取期間	西暦 2011年 3月～ 2012年 3月
意義、目的	<p>東日本大震災において広範な地域が被災し、現地医師はもとより全国から DMAT, JMAT, 日赤医療救護班、国立病院機構、学会、NGO などの多くの医療チームが被災地の医療救護にあたりました。本研究では、震災後に現地の医療が復旧するまでの診療録（紙カルテ）を電子的に取り込み解析可能な形にデータ化することによって、被災地における医療ニーズの把握と、医療供給体制の現状と課題をあきらかにして、災害に強い医療・保健・福祉の供給体制の構築をめざすことを目的としています。</p>
方法	<p>災害医療国際協力学分野において、石巻・南三陸・気仙沼および収集可能な診療録をスキャンして PDF 化するとともに診療内容をデータベースに入力し、解析可能なデータベース化します。得られたデータの地理情報、時間情報を統合し、被災地の位置情報とも合わせて医療ニーズが震災後どのように発生し、どの場所で診療を受けたかを解析します。診療録に記載されている個人情報や診療の繰り返しや重複の確認と地理的位置の特定のみ利用し、得られた解析結果を発表する際に個人が特定されるようなことはありません。</p>
問い合わせ・苦情等の窓口	<p>江川新一（東北大学 災害医療国際協力学） Phone & FAX 022-273-6286</p>